



JAF速報

飲酒状態でハンドルを握る危険を体験・検証！ ～飲酒運転撲滅講習会を開催しました～

— J A F 福岡支部 —

一般社団法人 日本自動車連盟（J A F）福岡支部（支部長 太田 憲男）は8月22日（月）、福岡市内で「飲酒運転撲滅講習会」を開催しました（共催：福岡東警察署、東福岡自動車学校、交通事故をなくす福岡県民運動本部、福岡市）。

これは、飲酒運転撲滅を目的に、実際にアルコールを摂取して「飲酒が運転に与える影響とその危険性」を検証する交通安全講習会です。

講習会に先立ち、飲酒運転撲滅活動に取り組む NPO 法人「はあとスペース」の山本 美也子代表から「飲酒運転は、無いのが当たり前なんです。大人のモラルの問題です。みなさんのお力で、飲酒運転がない当たりの福岡にしたいと思います。」との挨拶があり、参加者一同命の大切さを心に刻みました。

講習会には20代から50代までの7名（報道機関のぞく）が参加し、まず飲酒をしていない状態で簡単な筆記作業・運転時の反応速度の測定等を行い、通常時の判断・処理能力や運動能力を確認しました。次に昼食とともに軽くアルコールを摂取し、アルコール検知器により呼気中のアルコール濃度を計測した後再び飲酒前と同じ作業を行いました。

その結果、多くの受講者において、飲酒後に次のような変化が見られました。

- 1 筆記テスト（作業処置能力測定＝文字を書く、イラストの間違い探し）：作業精度の低下がみられた
- 2 ブレーキおよび回避操作：反応の遅れによる制動距離の伸びや回避方向の判断ミス等、ブレーキおよび回避操作が難しい状態となった
- 3 模擬運転：全般的に判断ミスや操作の遅れがみられ、乱雑な運転が目立った

講習会終了後、参加者からは「普段どおり運転できるつもりだったが、まともな運転は全然できなかった」「貴重な経験ができた。周りにも飲酒運転の怖さを伝えていきたい」等の感想が聞かれました。

J A F 福岡支部では、「微量であってもアルコールを飲んだら運転しない・させない」を理解していただく講習会の開催やハンドルキーパー運動の推進を通して、飲酒運転防止をはじめ交通安全啓発に力を注いでまいります。

<添付> 飲酒運転撲滅講習会の検証事例と講習会の様子

一般社団法人日本自動車連盟 福岡支部

お問合せはお気軽に… J A F 福岡支部事業課 小林・前川まで TEL092-841-7731（平日 9：00～17：30）

交通安全の情報なら！

JAFホームページ ご当地情報

ようこそ JAF福岡

検索



飲酒運転撲滅講習会(2016年8月22日)

■危険回避と制動距離の検証

飲酒後、ブレーキを踏んでから車両が停止するまでの距離(=制動距離)が長くなる傾向があり、中には制動距離が倍近く長くなった(飲酒前14.3m→飲酒後27m)受講者もいました。

急制動・危険回避

※ 枠は能力低下

ゼッケン番号	飲酒前		飲酒後			
	停止距離(m)	30km/h回避合否	アルコール呼気(mg/l)	停止距離	回避合否40km/h	能力変化
2	13.2	○	0.38	18	○	↓
3	14.3	○	0.19	27	○	↓
4	12	○	0.04	15.3	○	↓
5	15	○	0.26	12.5	×	↓
6	12.3	○	0.22	17	○	↓
7	19	○	0.38	13.1	×	↓
8	17.3	○	0.23	15	○	↗
9	13.5	○	0.23	12.5	×	↓
12	11.5	○	0.22	18	○	↓
18	13.5	○	0.23	18.1	○	↓
19	18.5	○	0.15	11	×	↓
平均	14.6	100.0%	0.23	16.1	63.6%	↓

※飲酒後は受講の11名中10名に能力の低下が見られた。

※反応が遅くなって停止距離が長くなるか、判断力が鈍って回避方向を間違えるか、いずれかのエラーが多く表れる結果となった。

■講習会の様子



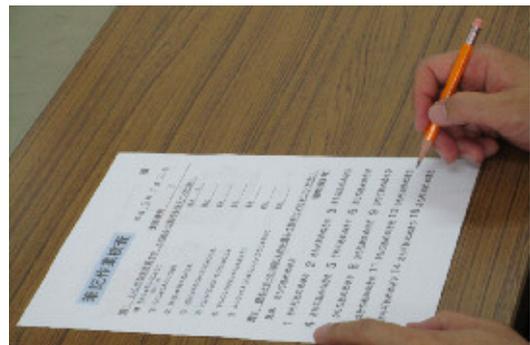
危険回避



視機能診断



アルコール濃度測定



筆記作業